

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4190700171		
法人名	医療法人 善成		
事業所名	グループホーム小葉音 橙季		
所在地	佐賀県鹿島市大字納富分2126-2		
自己評価作成日	令和 5年 2月 11日	評価結果市町村受理日	令和5年6月8日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人 佐賀県社会福祉士会		
所在地	佐賀県佐賀市八戸溝一丁目15番3号		
訪問調査日	令和 5年 3月 13日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

* フットケア 毎月 1回第三木曜日専門の先生に 訪問していただき足浴・爪切り・マッサージ・角質除去・タコ除去・陥入爪・白癬等早くに発見していただき皮膚科受診に繋げています。
* お便利 グループホームでの様子を写真と職員の手書きによる手紙
* (A3)での2ヶ月に1回の小葉音新聞発行

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

施設内は綺麗に整理整頓されていて、家庭的な雰囲気の中で入居者は落ち着いて生活することが出来ている。開設当初から勤務している職員も多く、3ヶ月に1回のミーティングでは職歴の長短に限らず誰でも活発に意見を言うことが出来ている。職員の個性を尊重しレクリエーションを行う事も出来ており、職員はやりがいを持っている。小葉音新聞やお便利には日常や行事の様子を写真で紹介をされ、家族とのコミュニケーションも良好である。専門家によるフットケアは継続して行われており、爪や皮膚の状態を良好に保つことが、転倒防止や入居者のより良い健康状態に繋がっている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「安らぎと温もりのある環境でその人の個性と思いやりを大切にします。入居者様が安心して過ごせるよう日々努めています。	基本方針に沿って支援を行っている。理念はホールの壁に掲示されているが、唱和等職員の共有する機会が設けられていない。	ミーティング時に理念の共有を行い、今後もより良い支援が継続できるように期待したい。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナウイルス感染前までは、ボランティアの方に訪問していただき、入居者様と交流の場を設けていました。今回も実施できなくなりました。コロナウイルス終息を願うのみです。	入居者は地元出身の方が多く、知人が尋ねてくることもある。地域とのつながりとして回覧板が回ってきたり、地区の清掃活動に出れないときは負担金を納めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	以前はボランティア活動の方・入居者様と一緒に歌ったり・楽器を引いて、過ごしていました。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナウイルス流行の為書面での運営推進会議となっておりますが、対面と同様GHでの活動・計画・入居者様の状況を報告し助言を頂きサービスの向上に努めます。	奇数月に書面開催を行っている。写真を多く取り入れ、コロナ禍でも入居者の生活を分かりやすく伝えている。また、意見交換を行いコミュニケーションは十分に取れている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議のメンバーの方に鹿島市役所の地域包括支援センターの職員さん・区長さん・民生委員さんがいらっしゃいます。助言・意見を頂きサービスの向上に努めています。	運営推進会議に市職員からの意見を受けることもある。また、入居状況の問い合わせ等、連絡はその都度行っており協力関係が出来ている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	グループホーム小葉音橙季は身体拘束ゼロの目標でケアを行っています。3か月毎のミーティングで職員皆再確認を行っています。今回はコロナウイルス流行で外部研修参加できていません。機会が出来たら検討致します。(職員の家族が感染の為職員も濃厚接触者で休んでもらったりして人員基準を優先しました。	現在、拘束は行っていない。言葉遣いにも気を配り、職員の気になる発言がある時には注意をしている。研修会には積極的に参加し、ミーティング等で報告して他の職員にも周知している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止の内容を職員の目が届くところに掲げています。又入浴時など全身状態の観察も行っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	入居者様が安心して生活できるように努めています。権利擁護・成年後見制度について理解できるように努力致します。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時にご家族様に(リスク説明・入居料・個人情報取り扱い等..)ご家屋様に目を通して頂き納得されてからサインを頂いています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情相談箱を玄関に置いています。又定期受診時・面会時に少しの時間でも御家族様の意見を聴くようにしミーティング時に話し合い、共有して運営に反映出来ている。	日頃の様子を写真や手紙で伝えている。家族が来所した際には、必ず意見がないか確認を行っている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	朝の申し送り・伝達ノート・3か月ごとのミーティング時に意見を出し。情報共有に務め良い意見は取り入れ改善に反映する事が出来ている。	3ヶ月に1回のミーティングでは、職員の出席率も高く、活発に意見交換が出来ている。伝達ノートも適宜利用され、情報共有に努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務表作成前に個々の希望を取り入れています。有給休暇の希望も受け付けています。勤務希望が重なったときは個人で話し合いをして頂き運営に支障がないように作成しています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	今回は人員基準を優先しました。今後外部の研修会機会が出来たら参加し個人のスキルアップに努めます。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	毎月1回の(第4木曜日)グループホーム交流会で講師の方又他のグループホームの意見を聴いて良いところは参考にしサービスの向上に取り組んでいます。今回はコロナウイルス流行の為2ヶ月に1回の開催でした。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご家族様・入居者様とうまくコミュニケーションを取り信頼関係を築くよう努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様の定期受診付き添い時・又面会時等話し合いの場を設けご家族様の意見を取り入れるよう努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族様の困り事・心配事・必要とされるところ・・・目を向けて支援を行っています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は昼食時には同席で召し上がったりと隣の席で過ごしたり家族の一員と思って生活をしています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月1回の個人便り・2ヶ月に1回の新聞発行でグループホームでの生活を報告しています。ご家族様は毎月の便りが楽しみです。とさせていただきます。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	今回も窓越しでの面会となりましたが窓越しでも写真は撮りました。	入居者の同級生や友人が面会に来ることもある。コロナ禍であるため、状況に応じて窓越しや玄関先で短時間での面会を行っている。また、病院受診後に自宅に寄るなど、関係継続を図っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個々性格が違うように、話が合う入居者様は自然に隣で話されたり・・・話が苦手な入居者様は職員が隣で過ごしたりと孤立させない様に支援しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了してもご家族様にはグループホームの近所に来られた時には気兼ねなく立ち寄ってくださいと声掛けは行っています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者様のこれまでに生活されてきた思い・こだわり等受け入れが出来るよう努めています。	入居前からのアセスメントをしっかりと行っている。入居者の意向を尊重し、希望に添えるように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時情報・アセスメントを共有し個人の生活歴に目を向けてケアに繋がっています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	3か月に1回のミーティング・申し送りノートを活用し情報共有に努めて本人の状況に応じた支援を行っています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居者様・ご家族様の意見・要望・を聞いて又介護の現場の声に耳を向けて計画作成をしています。	サービス担当者会議には家族も出席してもらい意見をもらっている。介護計画については管理者、ケアマネジャーで作成する事が多く、チームで作るという点では不十分である。	主治医や職員の意見もあることから、今後はチームによる介護計画の作成を期待したい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の状態・状況観察を行いケース記録に残し情報共有しケアの統一を図っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	一人一人の個性・能力を勘案し柔軟な支援やケアに取り組んでいる。 ご家族様が入居者様と外食・外出希望時は対応しています。今回はコロナウイルス流行の為に中止致しました。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣住民の方の協力を得ています・ 例・防火訓練時の協力 徘徊時の警察・新聞配達・郵便配達の方		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からの病院・医院を希望される。 定期受診時毎日のバイタル・夜間の入眠状態・食事量・尿量・身体状況など報告行い連携を取っている。	入居者や家族の希望により、これまでの主治医への受診が継続されている。定期的な受診は家族対応であり、日々の健康チェックや主治医に伝えて欲しい内容の記録を渡している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	常勤に看護職の職員がおりますので、入居者様の状態・急変時は報告・連絡取っています。又病院受診には適切な診察・診療が受けられるよう支援しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院・退院時にカンファレンスを行い看護・介護サマリーを活用しています。令和3年度はオンライン受診が多かったけど、令和4年度は対面による受診がほとんどでした。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時の誓約書に急変時の対応の説明を行い同意をもらっています。	現在のところ、急変時や医療が必要とされる入居者は病院対応となっている。看取りについては今後検討中である。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	看護師・職員と報告・連絡・相談を行い急変時は速やかに対応できるよう努めています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災・防火訓練を年2回行い地域の方に協力をお願いしています。 又近隣の方から「何かあったら協力します」声掛けてもらいました。	年2回業者の点検も含め火災避難訓練を行っている。また、非常食の備蓄もあり消費期限などチェックリストを分かりやすく作成されている。グループホーム交流会での災害対策も協議されている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩として尊厳の気持ちを持って言葉使い、プライバシーに気を付けて対応しています。	入浴やトイレ介助時にはプライバシーに配慮している。声掛けでは方言を使用することもあるが、入居者の名前を呼ぶときには尊厳の気持ちを持って言葉遣いに気を付けている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人一人違った性格、本人の気持ちに沿って支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	時々に入居者様に今日はどんなレク・遊びをやりたいか聞くようにしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理容に月1回訪問していただき、すっきりとしたヘアスタイルになられます。入浴後は保湿剤をぬったりスキンケアに努めています。入浴後の服も本人様と一緒に準備しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	地産地消の食材を使い皆様殆ど完食されま す。雑ご膳・母の日ご膳・ウナギどんぶり・ハロウィン献立等・・・楽しんで召し上がってもらっています。	食事は、家庭的な食事が提供されている。季節を味わってもらうために、行事食も提供され、入居者が楽しめるような工夫がなされている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	朝食事・10時・昼食時・3時・夕食時・19時水分提供しています。但し病院から水分制限のある入居者様は水分量を調整して提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	3度の食後の歯磨き・義歯洗浄・舌苔磨き施行しています。 口腔内異常時はご家族様に相談し歯科受診につなげています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表にて、個々のパターンを見付け出しトイレ誘導・声掛け行い気持ちよく過ごしてもらっています。	排泄チェック表を活用することにより、入居者の排泄パターンを把握しトイレ誘導を行う等、排泄の自立に向けた支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表にて排便コントロールを行っています。又水分・繊維質の食材を使った献立作成を行っています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入居者様の好みに応じた温度(40度・41度)湯舟に入る時間も本人のペースで入られます。但し湯あたりだけは気を付けています。入浴後は勿論水分補給されています。殆どの入居者様は「気持ちよか」言葉が聞かれます。	入浴は、週3回を基本としているが、毎日準備されている。入浴拒否される方はほとんどなく、清潔を保つことが出来ている。入浴時は皮膚状態の観察、入浴後は保湿に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々に応じた居室の温度を調節したり、寝具調節したりときもちよく寝て頂くよう支援しています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は個人の薬の内容・効能・副作用等お薬説明書は見るようにしています。又薬の変更時は申し送りノートに記載しています。誤薬がない様に名前・日付け・再確認を行っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	マンネリ化のレク活動にならないよう職員は思考施策で入居者様が楽しむ・喜ぶレク活動など取り入れています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	コロナウイルス流行の為車中でのドライブでしたが車中では笑いあり・会話ありと楽しく過ごして頂いています。	天気が良い日はドライブに行き、外出を楽しまれている。コロナ禍でも出来る支援を工夫して行っている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の管理は殆どご家族様がされています。入居者様が欲しいものはグループホームで立替で購入しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人様の希望時は☎支援行っています。携帯電話を持ってこられている入居者様もいらっしゃいます。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールの3人掛けの常時くつろげる状態にしています。室温はエアコン・照明はブラインドで調節して気持ちよく生活して頂いています。	共有空間は整理整頓に努められており、清潔感がある。昼食後は、照明を落とし静かに過ごすことができるように配慮されている。季節の折り紙や置き物を飾り、家庭的な雰囲気である。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合った入居者様は午後からはソファで過ごされたり又居室で一人でゆっくりテレビみたりしてくつろがれます。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には本人が使い慣れた衣装タンス・衣装ケースを持ち込まれています。	居室については、入居者が生活しやすいようこれまで使い慣れたものをそれぞれ持ち込まれている。トイレ付きの居室もあるが清潔が保たれている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	グループホーム小葉音橙季はバリアフリー、居室は転倒・転落がないように整理整頓を行い安心かつ安全な生活が送れるよう工夫しています。		